



がっこう
学校だより

めだす学校像 < 仲間とともに、愛と絆を育む学校 >

鈴鹿市立河曲小学校

電話 059-382-0268

Fax 059-382-7851

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskawano/>

令和7年7月3日発行 No.3



〈河曲小HP〉

かわっこ

どくしょかつどう すいしん 読書活動の推進

読書は、こどもたちの豊かな情操を育むとともに、想像力・語彙力・集中力を高めるよさがあります。河曲小学校では全校児童に読書ポイントカードを配付し、図書館の貸出数が10冊になると新しい色のポイントカードにランクアップする取組をしています。今一番多く読んでいる子は、黄緑色のポイントカードを使用していて、児童の読書意欲の向上にもつながっています。

委員会活動でも、読書を推進するさまざまな取組を行っています。先月は、「読書週間」があり、「ビンゴカード」を期間中に達成したら、「オリジナルしおり」がもらえる工夫をしていました。河曲小学校では学校全体で図書貸出年間20,000冊を目標にしています。全校児童446人で、一人あたり45冊になります。1週間に1冊借りて読んでほしいです。

ところで、三重県教育委員会がすすめている「家読」という言葉を聞いたことはありますか？「家読」は「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書活動です。こどもが本に親しむ原点は「楽しさ」です。動画視聴が増えている昨今、大切にしたいですね。

「いろんな本を読んでみてね」～本のご寄贈に感謝～

地域の方から本校児童へ、たくさんの本をご寄贈いただきました。図鑑やシリーズ絵本など、様々なジャンルの約250冊が寄贈されました。大切に読ませていただきます。



もしご家庭で読まなくなった物語や歴史、写真絵本、図鑑などの本がありましたら、お子様を通して、校長室までお持ちいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

ネットトラブルから子どもを守る！

～情報モラルの大切さを学ぶ～子どもが自ら考え、行動できるように～

スマートフォンやSNSが児童にも急速に普及する中、自他の人権を尊重し、情報社会での行動に責任をもつとともに、犯罪被害などの危険を避け、情報を正しく安全に利用できるようにするなど、学校での情報モラル教育はとても重要なものとなっています。

そのため、本校では、日常的な情報モラル教育に加えて外部講師を招聘した「ネットトラブル防止教室」を開催しています。先月は4年生が鈴鹿警察署とソフトバンクの方を講師に迎えて行いました。今月は5年生が教育委員会のネットモラル教室を予定しており、可能な限り多くの学年で実施していく予定です。

ネットトラブルから子どもを守るには、情報モラルの重要性について子どもが自ら考え、行動に責任をもつようにすることが大切です。ご家庭でも、家庭におけるルールづくりやフィルタリング等の利用など、身近な大人が子どもを見守る体制づくりについて、特段のご配慮とご協力をよろしくお願いいたします。

学校におけるスマートフォン、携帯電話等の持ち込みについて

○学校への持ち込みは、原則禁止です。

○保護者が、子どもの安全をより一層確保する観点から、緊急の連絡手段として活用するため、登下校時に子どもにスマートフォン、携帯電話等を持たせたい場合は、保護者の責任のもと携帯電話の学校への持込み許可申請書の提出をもって学校に伝えることになります。ただし、学校教育活動中の使用はできません。許可の申請は年度ごとになります。

ちいきれんけい とりくみ かんしゃ 地域連携の取組に感謝

河曲放課後子ども教室、通称「河曲キッズクラブ」、愛称「カワッキー」は、河曲小の1・2年生の希望者対象の活動です。今年度は33名の参加者で年間14回の活動を河曲地区地域づくり協議会の皆さんが中心となって、子どもたちの成長を支えています。

河曲地区地域づくり協議会は、年4回の地区別奉仕作業(草刈り・清掃)にもご尽力いただいています。早朝からの草刈り、作業後のごみの回収等、草刈り機やトラックを準備いただき、PTA活動のサポートもいただいています。夏休みにはラジオ体操や絵画コンクールの取組にも学校運営協議会と連携した企画を考えていただいています。このような地域連携の取組は、河曲小児童の郷土愛や豊かな心の育成の大きな原動力となっています。

